

科目名：成人歯科学Ⅲ<補綴>		必	1 単位
(Prothodontic Dentistry)			
履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義			
担当教員：前畑 洋次郎(実務経験無)，林昌二（実務経験有）			
学修目的	歯科臨床では補綴治療は多くの割合を占めます。診療には診療補助が不可欠であり適切な診療補助や予後管理を行うためには、補綴治療を理解する必要があります。そのための基礎になるのが補綴学です。ここでは咬合の基礎から、クラウン、ブリッジ、局部床義歯、全部床義歯などの補綴装置を製作するための診査診断から装着予後管理までの全般的な内容を修得します。 CP 2,3 DP 2(1),2(2),3(3)に関連する 科目 NoS2C09H07		
到達目標	①顎運動を理解し咬合に関連する専門用語を説明できる ②クラウンの種類、適応症と禁忌症、診査診断から予後管理まで理解し、基本的な診療補助を考えることができる ③クラウンの支台築造について説明できる ④ブリッジの種類、適応症と禁忌症、診査診断から予後管理まで理解し、基本的な診療補助を考えることができる ⑤ブリッジの平行測定、ポンティック、蟬着、局部床義歯との違いについて説明できる。 ⑥局部床義歯の種類、適応症と禁忌症、診査診断から予後管理まで理解し、基本的な診療補助を考えることができる ⑦局部床義歯の維持、支持、把持、維持装置、連結装置の説明ができる ⑧全部床義歯の種類、適応症と禁忌症、診査診断から予後管理まで理解し、基本的な診療補助を考えることができる ⑨全部床義歯の印象採得について、その特徴を説明できる ⑩全部床義歯の咬合採得について、咬合用語を用い適切に説明できる ⑪咬合の概要を理解し、歯牙欠損や実質欠損症例に対する補綴方法を理解する。 ⑫各分野の診療に対して、必要な器具機材を準備・使用・管理し、適切な診療補助を行い、患者説明や指導ができる。 ⑬補綴治療で使用する器具、器材の管理、用途、使用方法が説明できる		
授業概要	補綴学とは歯に被せる、歯を喪失した部分を義歯などの人工物で補うための学問です。一本の歯に被せることから無歯顎(歯が全くない)の総義歯まで対象は広範囲にわたります。多くの歯を失うと見た目や噛み合わせが悪くなるので 審美や咬合(噛み合わせ)についても学習します。使用機器に関しては診療補助論Ⅳ説明します。		
評価方法	講義への参加度(10%)、定期試験の総合評価(90%)、試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間		
教科書	歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助 永末書店		
参考書	必要の都度指示します		
オフィス- 連絡先	前畑： 月～金曜日 16:30-17:00 場所未定：前畑研究室 maehata@kdu.ac.jp 林：講義日終了後 30 分間、それ以降は、前畑研究室 maehata@kdu.ac.jp まで連絡下さい。		